

患者さんへ 研究協力をお願い

課題名 慢性肝疾患症例における血清亜鉛値の検討

研究の背景

亜鉛は体内の多数の代謝酵素活性に関与しており、その不足は様々な影響を与えることが判明してきています。また肝疾患では進行肝疾患すなわち肝硬変では亜鉛が欠乏することが示されていますが、亜鉛検査値と各種慢性肝疾患との関係や代謝低下による骨格筋量への影響は明らかにされておられません。筋力の低下はサルコペニアという筋肉量の低下状態に深く関連して生命予後にも影響を与えます。亜鉛値から同成分の補充による病態の改善につながる可能性もあります。

以上を踏まえて肝臓科では下記の検討を行います。

(1) 目的

慢性肝疾患症例における血清亜鉛値の動向と肝予備能・臨床検査値等との関係を検討する。

(2) 対象及び方法

当科に2022年1月から4月に通院中の慢性肝疾患約200症例が対象です。

C型肝炎、B型肝炎、非アルコール性脂肪肝炎、アルコール性肝障害、原発性胆汁性胆管炎、自己免疫性肝炎の診断が確定している患者さんの臨床検査成績や診療録記載内容、期間中に施行している腹部CT所見、握力結果を用います。同情報により肝予備能、血清亜鉛値と臨床検査成績及び骨格筋量との関係を検討します。

個人情報への配慮など

医学研究及び医療行為の対象となる個人の人権の擁護はヘルシンキ宣言に準拠します。

患者さん個人には、検査などの新たな侵襲、経済的負担はなく、既に保険診療で施行した診療に基づく情報の利用のため経済的な不利益もありません。同意を得られない場合にも今後の診療に支障がでることはありません。

連絡先（研究責任者）

東北労災病院肝臓科部長 小林智夫

〒981-8563

仙台市青葉区台原4-3-21

022-275-1111（代表番号）